

平成 19 年 8 月 30 日

(独)日本学術振興会

「結晶加工と評価技術」第 1 4 5 委員会
委 員 各 位

(独)日本学術振興会

「結晶加工と評価技術」第 1 4 5 委員会
委員長 梅 野 正 隆

第 145 委員会の第 6 期の終了について

拝 啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 1 4 5 委員会の活動につきましては、いつも変わらぬ御支援と御協力を頂き、誠に有難うございます。当委員会がこれまで活発な産学連携活動を続けてくることが出来たことは皆様方のおかげと感謝いたしております。

さて、第 1 4 5 委員会は平成 1 9 年 9 月 3 0 日で第 6 期を終了致します。現在、幹事の皆様のご協力により第 7 期への設置継続を学振に申請しており、学振の総合研究連絡会議のヒアリング審査に備えている所であります。振り返って見ますと、昭和 5 2 年 1 0 月の設立からの 3 0 年間に、6 分科会を設置して新しい問題の解決や萌芽的分野の育成に努める傍ら、研究会活動を通して我国半導体産業の発展を産学協力の立場から支援して参りましたが、今後もこの活動を継続して行くつもりでありますので、よろしくお願いいたします。

第 7 期の活動につきましては委員総会でも説明いたしましたが、基本的にはこれまでの運営方針で臨むものの、委員長並びに幹事会メンバーの大幅な若返りを図ってより活発な活動を展開してゆく所存であります。さいわい 6 月 4 日の委員総会では、次期委員長に田島 道夫(独)宇宙航空研究開発機構教授を、副委員長に柿本 浩一九州大学教授を、との幹事会提案が承認されましたので、両先生の構想にそって第 7 期のあり方について検討している所です。第 7 期には新しい委員の加入が見込まれ、また委員の高齢化を避けるためにも学界委員・顧問の交代が行われますが、本委員会の継続的な発展のために必要であることをご理解いただきますようお願いいたします。第 7 期に委員をお願いいたします先生には設置継続が認められた段階で新たに委員就任依頼が送られますので、その節はどうぞよろしくお願いいたします。

第 6 期を終えるにあたり、これまでの第 145 委員会へのご協力に対し心から御礼申し上げますとともに今後のご健勝をお祈り申し上げます。これからも第 145 委員会への変らぬご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。なお、9 月 25 日に第 6 期最後の研究会が開かれますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

残暑厳しき折、お身体くれぐれもおいとい下さいますよう。

敬 具